

I 基本構想

- 1 序論
- 2 基本構想

II 後期基本計画

- 1 序論
- 2 基本計画
 - 基本目標1 育み、認め合い、元気に生きるまち【共生】
 - 基本目標2 地域の魅力を共に創る、活力あるまち【共創】
 - 基本目標3 楽しく、つながり合い、活躍するまち【共感】
 - 基本目標4 もっと行政が寄り添うまち【共治・共有】

III 高砂市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）

- 1 人口ビジョン
- 2 総合戦略

IV 資料

- 資料1 総合計画の推進が貢献するSDGs
- 資料2 第5次総合計画策定の経過
- 用語解説

1

序論

高砂市総合計画は、将来における高砂市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針を記載したものです。

1-1 策定の趣旨

高砂市は、2010(平成22)年度に、第4次高砂市総合計画を策定し、将来像を「郷土に学び 未来を拓く 生活文化都市 高砂」として、政策及び施策を展開しました。

このたび、第4次高砂市総合計画の目標年次である2020(令和2)年度を迎えました。

これから高砂市があるべき姿や、その実現のために何をしなければならないかを、市民と行政が共に見直しました。

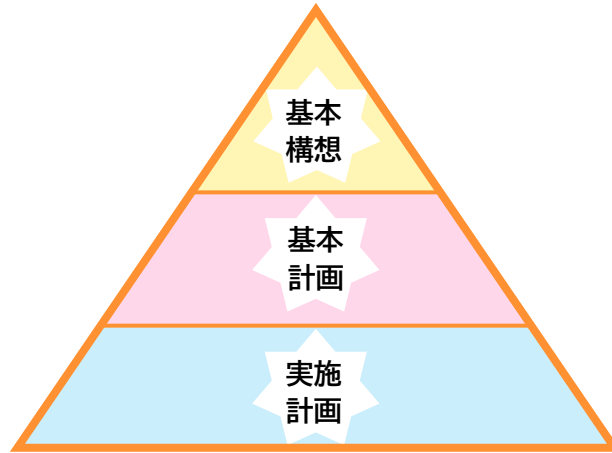
高砂市の2030(令和12)年度に向けた将来像「暮らしイキイキ 未来ワクワク 笑顔と思いやり 育むまち 高砂」を実現するための基本的な指針として、第5次高砂市総合計画を策定します。



高砂市の風景

1-2 計画の構成

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画から構成します。



基本構想	★ 市政の総合的かつ計画的な運営を図るために長期的な展望に立って定める構想
基本計画	★ 基本構想に基づき市政全般に係る政策及び施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める計画 ★ まち・ひと・しごと創生法に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含して策定
実施計画	★ 基本計画に基づき施策を実現するための具体的かつ個別的な事業を定める計画 ★ 総合計画を推進するための行政経営プランとして策定

1-3 計画の期間

基本構想の計画期間は、2021(令和3)年度から2030(令和12)年度までの10年間とします。2025(令和7)年度に前期基本計画を見直し、後期基本計画を策定します。

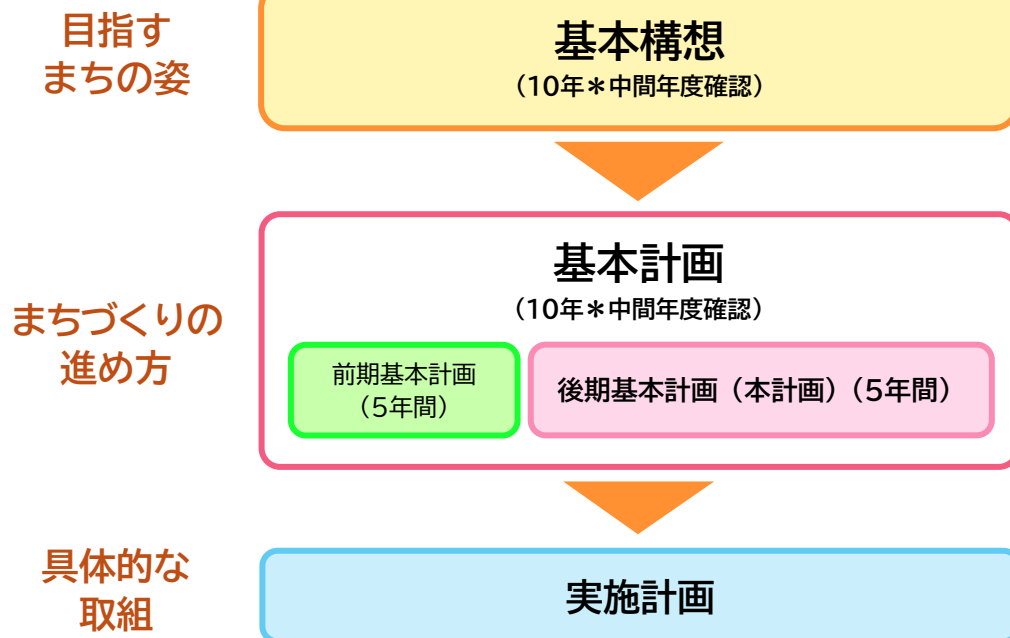
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基本構想(10年間)									
前期基本計画(5年間)					後期基本計画(本計画)(5年間)				
					実施計画(3年間)				
						実施計画(3年間)			
							実施計画(3年間)		

2

基本構想

基本構想は、2030(令和12)年度の高砂市のあるべき姿を目指し、基本理念を踏まえた将来像を定め、それを実現するための基本目標を定めたものです。

市政の総合的かつ計画的な運営を図るために長期的な展望に立って定める構想



2-1 高砂市の2030年の姿

2030(令和12)年の高砂市のあるべき姿として一例を示しています。ここに書いていることがすべてではなく、市民全ての福祉の増進を図ることが自治体の役割です。目指すことは、時代に応じた、その人らしく暮らせるまちの実現です。

2030(令和12)年、高砂市は、今の暮らしがイキイキと、未来にワクワクし、笑顔と思いやりがあふれたまちと多くの人が感じています。

ひと

結婚から出産、子育てまで、安心して生み育てられる環境があり、子どもも保護者も、笑顔です。学校は、ICT環境が充実し、教師や地域や多様な皆さんが、子どもたちの学びを思いやり、育んでいます。「イキイキ」、「ワクワク」することは、人それぞれの価値観、違いがあることを認め合っています。福祉では、相手を思いやり、寄り添ってくれる人がいて、誰一人取り残さない支援が行われています。

ご高齢の方も困難をお持ちの方も誰もが心身ともに穏やかに、住み慣れたまちで、笑顔で暮らしています。

情報技術を活用した広域的な取組により、子どもや認知症の方などへの見守り機器が整備され、安心です。

誰もが必要な医療が受けられ、安心できる医療・介護体制があり、その人材も地域で育っています。

新型コロナウイルス(COVID-19)禍を乗り越え、命を守る医療・防災体制に、感染症リスク対応が整っています。



まち

まちなみはきれいで、歩行者も、自転車も、自家用車も、救急車も、消防車も、通しやすい道路が多いです。

山電高砂駅やJR曾根駅等の周辺再開発が進み、集合住宅、金融機関、スーパー、商店などがあります。

駅周辺の開発等により、駅周辺の利用者は増え、バスやタクシー等、利用者にとって便利な移動手段があります。

気持ちがワクワクする場所に行くことができ、子どもを豊かに育てたい家族が笑顔で住む住宅があります。

製造業を中心とした産業がより一層充実し、地域の特徴や新技術を活かした生産性の高い産業があります。

市民一人ひとりが地域や地球環境に配慮し、SDGsを意識した思いやりのある生産・消費行動が浸透しています。

大規模な自然災害に対する防災、減災対策が進み、住み続けられる強靱なまちを実現しています。



くらし・しごと

すべての働きたい人がその人らしく働く、思いやりのある職場が増えています。
働き方改革が進み、人生100年時代を楽しくその人らしく、住みたい場所を選び、行動しています。

つながり、出会うことによる絆が多様な面で生まれ、住み続けやすい人間関係とお付き合いがあります。

高砂らしい景観、自然環境、文化は、市外・海外からの来訪者にとっても親しみやすく、好きになる人がたくさんいます。

未来にチャレンジし、新しい価値の創造に向けイキイキ行動する人もおり、応援する人がいます。

シビックプライドが育まれ、市内・市外の多くの人が住みたいまちを創ろうと取り組んでいます。



行政

市内・市外の個人や事業者の共感を呼ぶ姿勢で業務に取り組み、シティプロモーションが機能しています。

積極的に市政情報の発信やデータのオープン化を進め、多くの市民が自立的に市政に参画しています。

地域に出て、地域の話聞き、寄り添う市職員、専門的な見地からの支援ができる市職員が増えています。

市役所業務はICTの活用でより効率化され、市民サービスのさらなる向上が図られています。

公共施設は、複合化、集約化等を多様な手法を活用しながら、より使いやすい、利用したい施設になっています。

インフラ整備、老朽化対策も市民合意のもと、計画的に実施しています。



2-2 基本理念と将来像

(1) 基本理念

私たちが、住んでいる地域社会に対する基本的な思いとして次の4つを基本理念とします。

● 誰一人取り残さない

社会的に弱い立場の人をそのままにしません。

● 市民の命、財産を守る

あらゆる危険から市民の生活を守ります。

● 魅力的なまちをつくる

多くの人々が魅力的と感じられる社会、まちをつくります。

● 持続可能なまちをつくる

将来世代が必要なものを損なうことなく、今の世代の要求も満たすまちをつくります。

高砂市の2030(令和12)年の姿を実現するために、この基本理念を踏まえ、将来像及び基本目標を定めます。

この4つの理念はSDGsの考え方と一致します。

★ SDGsを意識し、皆様と共に、夢を描きます ★

SDGsという世界共通言語をキーワードに、多くの人と協働し、みんなの夢の実現に向けて進みましょう。



(2) 2030年高砂市の将来像

高砂市の10年後、どうなっていてほしいか、市民の皆様からご意見をいただきました。基本理念と皆様のご意見を踏まえ、2030(令和12)年の将来像としました。

Iki Iki
Waku Waku
暮らし **イキイキ** 未来 **ワクワク**

笑顔と思いやり育むまち 高砂

～SDGsで共に夢を描こう～



将来像に込められた思いは次の5つです。

前期計画に引き続き、今の暮らしを充実させ、未来の暮らしを楽しみにするため、高砂市の伝統文化自然、そして市民を大切に、新しい魅力をつくり続けていきます。

●暮らしイキイキ

今の暮らしを充実させたい。伝統、文化、自然を大切にしたい。
誰一人取り残さない。市民の命、財産を守る。

●未来ワクワク

未来の暮らしを楽しみに思う。新しい魅力をつくりたい。
魅力的なまちをつくる。持続可能なまちをつくる。

●笑顔

小学生の皆さんが「高砂市の10年後」の絵画で描いていた、人の様子。

●思いやり

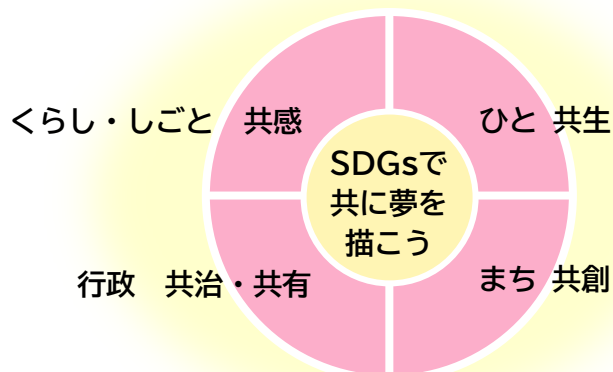
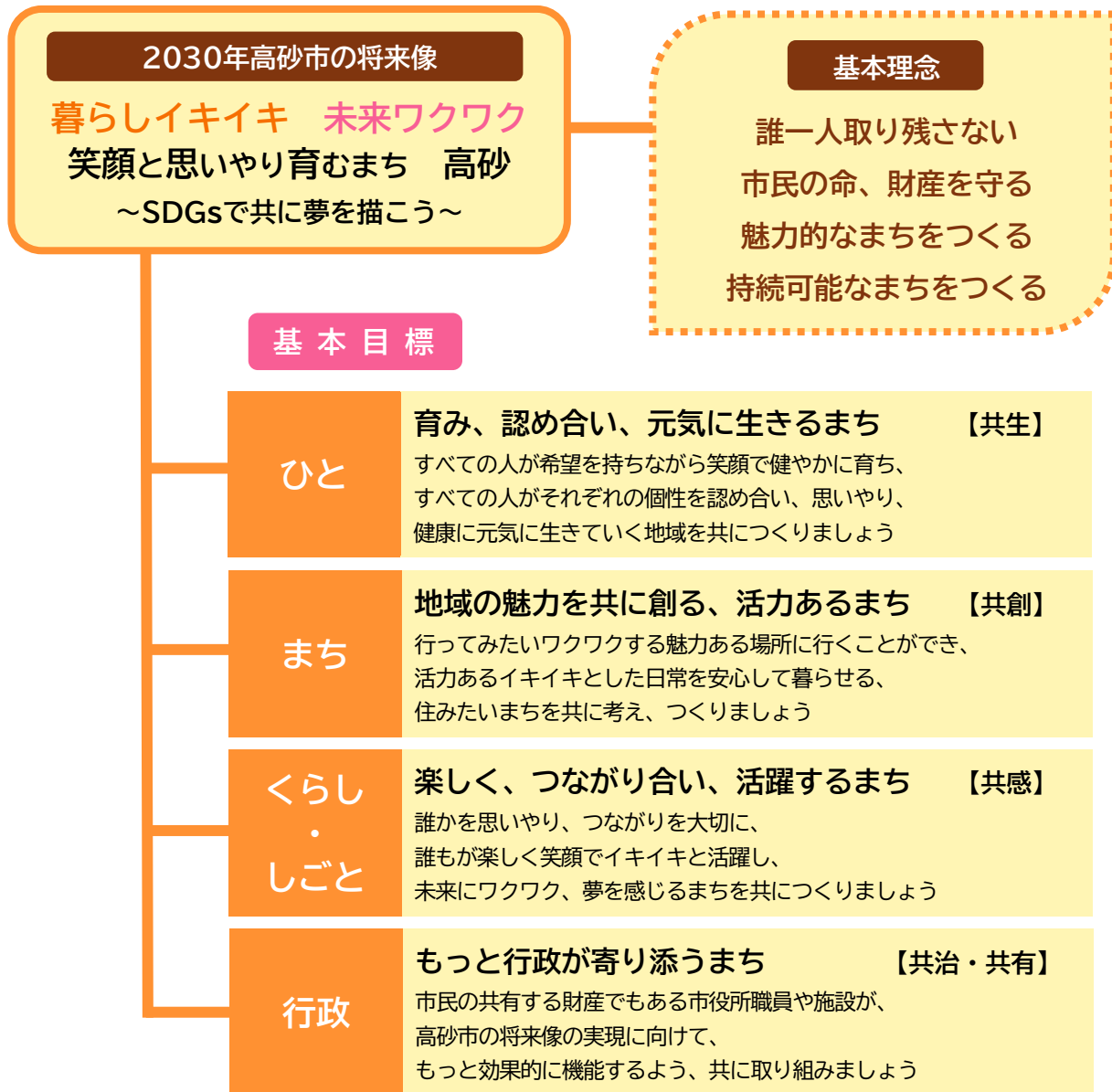
中学生、高校生の皆さんが「高砂市の10年後」の作文で書いていた、人の様子。

●育む

意見交換会等に参加いただいた皆さんのご意見による、人の様子。

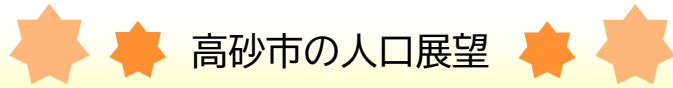
2-3 基本目標

基本理念のもと、将来像を実現するため、4つの分野別の基本目標を設定します。

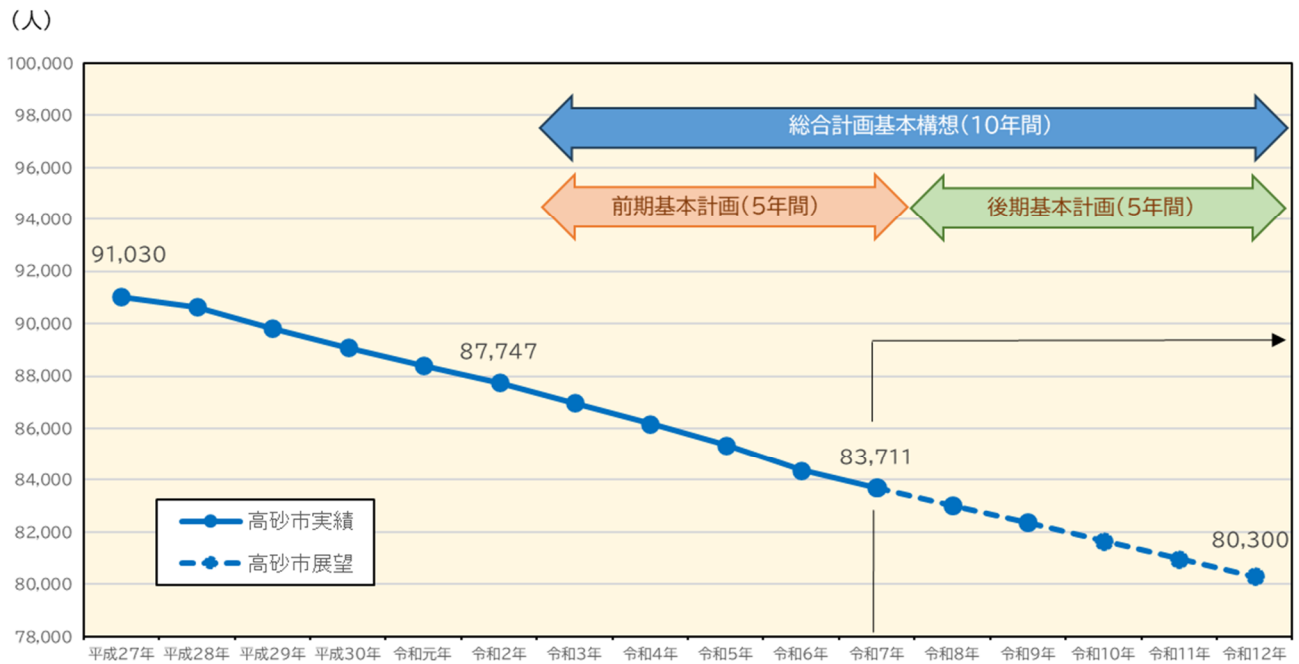


2-4 高砂市の人口

人口ビジョンに基づき、2030(令和12)年の人口展望を80,300人とします。



2030(令和12)年 80,300人



出典：社人研推計、兵庫県推計人口、高砂市人口ビジョン